

事務事業評価(事前評価)シート【令和6年度】

主管課(担当名)	【地域創生室】関係人口拡大促進事業	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	関係人口拡大促進事業	事業番号	13035

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-07	計画的で持続可能な財政運営
	施策目標	将来にわたり健全で安定した財政運営を推進するまち	

2 事務事業の目的

目的	都心部(東京都新宿区)において根室応援団を招いたクローズのリアルイベントを開催し、食と絶景をコンセプトに根室の魅力を再認識いただき、継続的なつながりを構築することで関係人口の創出・拡大に寄与する。
成果	着実に根室市の関係人口は広がりを見せている。 また、これまで、人口減少社会における関係人口の重要性について市内外に度々発信しており、本事業のみならず、他の関連事業に対しても、市内事業者等の積極的な参画が見受けられており、その必要性については着実に市内に広がっているものと受け止めている。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要					
	R2						
	R3						
	R4						
	R5						
	R6	東京都新宿区において、食と絶景をコンセプトとした交流イベントを開催。根室市にゆかりのある都内在住の1,000人を招待し、クローズイベントとして開催。					
事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
	事業費					22,000	22,000
	内 訳	国庫支出金					
		道支出金					
		地方債					
		ふるさと関連基金				22,000	22,000
		その他					
		一般財源					
	人員(人工)					1	1.00
	職員費(人員×7,262千円)					7,262	7,262
	総事業費					29,262	29,262
維持管理	管理主体						
	運営方法						
	維持管理費	施設維持費					
		概算人件費					
		合計/年					

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R5)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	交流イベント参加者数	1,000人	-	1,000人
			-	
			-	
			-	
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)	事業実施に当たり、来場者のホスピタリティを十分に確保するうえで、例年、実施に向けて受託事業者とともに過去の実績を踏まえた事業内容の見直しを随時行っている。			

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	根室市の関係人口の増加
-------------------	-------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	☐ かなりのニーズがある ☒ ニーズはある ☐ ニーズはあまりない 例年、招待者数に対し申込者数が大幅に上回ることから抽選を行っている。そのため、現状では相当数のニーズがあることが伺えるが、事業の継続性を考慮した場合、同一の会場を使用することが効果的であるため、今後も同規模での実施としたい。
イ. 市が実施する必要性	☐ 市が実施すべきである ☒ 市の実施について検討の余地あり ☐ 市以外で実施可能である 民間が主体となって同様の事業を行うことは可能。ただし、その場合においても、趣旨を踏まえた上で行政が大きな役割を担う必要がある。
ウ. 事業の緊急性	☐ 緊急性が高い ☒ 緊急性はある ☐ 緊急性はない 根室市の人口減少は進んでおり、まちの持続的な発展のためには、根室市に住所を持たずとも、何らかの形でまちづくりに関わる関係人口の存在は必要不可欠であるため。
エ. 手段の適切性	☒ 適切である ☐ 現状として妥当である ☐ 検討の可能性はある オンライン等での開催ではなく、オフラインでのリアルイベントにこだわっている。まちの魅力である食と絶景を伝えるには、自身の五感で得られる感動は大きい。
オ. 事業の公平性	☒ 公平性は高い ☐ 概ね公平である ☐ 改善の余地はある 本事業は随意契約で実施しているものであるが、平成29年度から開催している同イベントを踏襲しており、同一会場の確保や円滑な運営が見込める等の観点から、継続的に同事業者で契約しているもの。
カ. 事業の有効性	☒ 本事業の有効性が高い ☐ 本事業の有効性がある ☐ 既存事業と大きな差はない 関係人口との継続的なつながりを構築する取組みは、国においても推奨しており、まちのファンづくりにおいて直接的な交流は有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業推進を図り、関係人口の創出・拡大並びに継続的な交流を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	☒ 計画どおり着手が適当 ☐ 再検討し実施する ☐ 着手を延期する 今後の人口減少を見据え、関係人口創出拡大の重要性は増していくものと考えており、引き続き計画的に事業を進め、得られる成果の最大化に努めてまいりたい。

作成年月

令和6年7月